

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部総務課		■担当係	総務係
■評価事業名称	奨学資金貸与事業			
■評価事業コード	400100 - 002	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上		
	■施策	02 児童生徒への支援		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	北上市奨学金貸与条例			
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	経済的理由により就学困難な者へ奨学金貸与し、教育を受ける機会の拡充と人材育成のための支援を行う。□貸与額 高校等 月10,000円、大学等 月30,000円			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	奨学資金貸与事業	高校・大学生等	新規貸与者 38人 継続貸与者 66人 貸与者数合計 104人 貸与金額合計 36,000千円	新規貸与者 25人 新規貸与者(追加) 1人 継続貸与者 65人 貸与者数合計 91人 貸与金額合計 31,350千円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	42,686	35,782	33,042	31,401	
人件費	3,082	2,911	3,970	3,939	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	45,768	38,693	37,012	35,340	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	奨学金貸与者数(新規、継続分)	128人	104人	97人	91人	経済状況の低迷で奨学金を必要とする者は多いと思料されるが、申請者数は減少傾向にある。

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

貸与希望者には全員貸与できたが、新規申請者数が昨年度の7割程度となっている。

問題点・課題等

昨年度から募集及び申請受付時期を早め、連帯保証人の要件緩和や追加募集を行っているが、新規申請者数は昨年度の7割程度となっていることから、申請者数減少の要因を分析し、効果的な周知方法、返還不要の奨学金制度の創設など検討する必要がある。また、平成26年度の奨学金の滞納繰越者数は22人、滞納繰越額は1,785,000円となっており、督促、臨場訪問、連帯保証人への催告等を実施し、昨年度より滞納額は減少しているものの、長期滞納者への対応については庁内他部署との連携が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

経済状況の低迷により就学困難な者は多くいると見込まれることから、当事業は継続すべきと考える。